

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		イストワール鴻巣小松教室		公表日		令和8 年 1 月 16 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・職員の視野内に子どもが入り、こどもが活動を行う事が出来るスペースになっている。 ・活動内容によっては狭くなるが、1人ひとりのスペースが取れていると思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・送迎で外に出る職員がいる中で、教室内の職員の数を決めていて工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・外から鍵をかけることで教室内から勝手にでないようにしている点。 ・壁に絵カードが備え付けして有り、お子様指を差して伝えられるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日アルコール消毒を行い、清潔にしている。 ・職員が清掃する時間を設けられている点。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・子どもが精神を落ち着かせたり、着替えをしたり出来る部屋がある。 ・お客様の特性に配慮し、同じ空間内ではあるが、和室と洋室に分けて行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	89%	11%	・常に支援の振り返りを行い、共有するように務めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・朝礼の際などはじめ、業務・支援における意見が共有されている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・強度行動障害支援者研修の受講や、毎日のミニマムの研修が有り、様々な研修を受けている。 ・朝礼において、研修資料を読み上げて全職員の資質向上が図られている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・インターネット上で公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・近況を共有しながら作成をしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・モニタリングをしながら、1人ひとりの意見を言う機会がある。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	89%	11%		・支援計画の内容を可能であれば全職員に共有したら良いと考える。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・プログラムを決める際、内容の説明や確認を行い、共有されている。		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・季節に応じた活動や天候・気圧などに配慮して活動プログラムが組まれている。 ・最近出来ることが多くなってきたお子様がいらっしゃるため、2つのプログラムを合わせたり工夫を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・1人ひとりに合わせて日々活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・勤務日数の少ない職員にも、前日の様子などについて共有されている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	・当日ではないが、翌日に行っている。	・全職員がそろって振り返りを行う時間は取りにくい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・お子様の様子を共有し、見直しを行っている。 ・ご家族様にも事前に様子をうかがっている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・担当者会議やモニタリングなどにお子様を理解した職員が出席し、共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	89%	11%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・お迎えの時に共有を行ったり、電話等での確認を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	78%	22%		・また、学校に入学するお子様がいないため、今後行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	78%	22%		・児童発達支援センターに通い始めたばかりのお子様のため、今後機会を設けていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	公園等で交流する機会を設けている。	・コロナ等があり、幼稚園等直接行けていなかったため、今度交流できるようにしていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際、連絡帳、面談などを通して保護者との共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	11%	家での様子を聞いて情報提供をしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	相談室に書類を設置、変更点を説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・家庭からの相談を職員内で共有し対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	78%	22%	・イベントの兄弟参加への声がけを行っている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・ブログやSNSを積極的に活用し、写真が多くあることで活動の様子が伝わりやすい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・必要に応じてSNSなどの写真における個人情報の取り扱いを徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	・実習生の受け入れを行っている。 ・避難訓練の呼びかけを行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・実際に避難経路を利用者と歩き、職員・利用者へ確実に伝えている。	・ご家族への周知が足りないため、説明していく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害発生に備えた説明を子どもにも分かりやすく伝え、緊張感を持たせている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・毎日研修を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・全職員が把握出来る様に起きた日以外にも朝礼など共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・朝礼において、虐待防止のための対策と確認をする事を呼びかけている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		